

## 平成 24 年度第 1 回北はりま定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

開催日時	平成24年 9 月 3 日（月）午後 1 時30分～ 3 時30分
開催場所	西脇市民会館 中ホール
出席者	委員13名（欠席：富永委員、三村委員、丸田委員、吉田委員）、オブザーバー 6 名、事務局 4 名

### 1 西脇市長あいさつ

- 今回は、第 2 期の初めてのビジョン懇談会となるが、学識経験者として委員にご就任いただいた兵庫県立大学の横山准教授をはじめ、第 1 期から引き続きお願いをした委員の皆様、また今期から新たに委員にご就任いただいた皆様にご出席をいただいております、それぞれ大変ご多忙の中、ご就任をご快諾いただいたことに心から感謝を申し上げます。
- また、オブザーバーとして、兵庫県市町振興課からもご出席をいただいていることにもお礼を申し上げます。
- ご承知のとおり、西脇市と多可町とは、歴史的にも地理的にも非常につながりの深い地域であるが、北はりま定住自立圏として自治体の枠を超えて連携しながら、安心して快適に暮らすことのできるふるさとづくりを進めていこうとしているところである。
- その実現のために、地域の将来像や具体的な事業プランを示した「北はりま定住自立圏共生ビジョン」を策定し、昨年度からビジョンに沿った取組を展開しているが、委員の皆様には、北はりま定住自立圏での事業展開等について、一步踏み込んだ、幅広い視点でご意見をいただきたいと考えている。
- 本日の懇談会では、ビジョンに示す事業の進捗状況をご確認いただくとともに、平成 24 年度の実施事業について皆様にご報告をさせていただくほか、ビジョンへの事業の追加もご協議いただく予定としている。
- この共生ビジョンは、平成 27 年度までを期間としているが、運用から 2 年目を迎える本年度は、地域住民の皆様には、この定住自立圏への理解を一層深めていただくため、住民の皆様に見えるような形での事業展開を図っていく必要があると考えている。
- 本年度は、地域医療の分野で、総務省から「北はりま定住自立圏『地域医療を支える』基盤整備調査事業」の採択を受け、国からの委託費のもと、地域医療に対する理解を深め、守っていくための事業も展開していきたいと考えており、委員の皆様にも、それぞれ関心を深めていただくとともに、ご理解、ご支援をいただきたいと思っている。
- 本日も、委員の皆様にはそれぞれの立場から積極的なご意見、ご提言をいただき、有意義な懇談会としていただくようお願い申し上げます。また、今後 2 年間お世話になるので、あわせてよろしくお祈りを申し上げます。

### 2 委員等出席者の紹介

- 出席委員による自己紹介
- オブザーバー並びに事務局職員紹介

### 3 座長・副座長の選出

- 座長については、会議開催要領の規定に基づき、委員互選により兵庫県立大学准教授の横山真弓氏を選出。
- 副座長についても、会議開催要領の規定に基づき、横山座長が、西脇市多可郡医師会会長の藤田 位氏を指名。

### 4 定住自立圏構想の概要について

- 会議資料及びスライドに基づき、事務局から概要を説明。
- 特に質疑はなし。

### 5 議事

#### (1) 報告事項 ① 北はりま定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について

- 会議資料に基づき、事務局から進捗状況について説明
  - (委員) ・病病連携推進事業について、多可赤十字病院や西脇病院との連携ということになっているが、一般の病院と西脇病院とのネットワークはできているのだろうか。
  - (市担当) ・現在、北播磨地域で医療ネットワークの連携事業が進められており、開業医と公立病院とのデータの連携をしようとしているが、今はモデル事業として進めている段階であり、今後本格運用を進めていきたいと考えている。
  - (委員) ・進捗の状況について、表の見方を教えてほしい。
  - (事務局) ・連携事業の取組状況の①～⑤の数字が、個別事業の取組事業の①～⑤に対応している。●印については、後の年度に別の事業を行ったりするものであり、ご理解をいただきたい。
  - (座長) ・例えば、②の実施済みのところに○印がついていても、これで終わりということではなく、いったん完了したが事業は進んでいる、という認識で良いか。
  - (事務局) ・いったんは体制が出来上がったので、それを次年度以降も引き続いて進めている、ということをご理解いただきたい。
  - (副座長) ・医療体制について、医師の派遣のことなど病気になった場合の体制については書かれているが、病気の予防体制などについてはどのように位置付けられているのか。
  - (事務局) ・予防の体制については、後ほどご説明申し上げるが、西脇市での小児医療を守る取組を多可町に広げていくなどの事業展開を考えている。ビジョンには、基本的に1市1町で連携することにより効果が上がる事業を掲載しているとご理解いただきたい。
  - (委員) ・シカ肉処理施設がオープンしてから日々頑張っているが、加工をしようにもシカ肉がないという声をよく聞く。色んな話を聞くと、ハンターの方が少ないとか、土日しか狩猟ができないということがネックになっているのかなと思う。ただ、せつかく処理施設ができたのだから、そのような課題を

解決していかないと流通も出来ないということになるので、何とかシカ肉がスムーズに流れるようにしていただき、西脇や多可に行けばシカ肉が常に販売されているようになることが、私たちの願いである。西脇市の方にもぜひ応援をお願いして、そのような状態にもっていきたい。

- (町担当) ・この4月から現在まで27頭を処理した。西脇市からの応援体制もあるし、防護柵の設置も進めているところである。肉が足りないということであるが、捕獲をしてから2時間以内に解体をしなければならないということもあり、時間的な制約も大きいと思う。シカ肉の販売については、現在2か所で行っているが、かなり低温の冷蔵庫がないと保存できないということであり、そのあたりもネックになっているのが現状である。
- (座長) ・施設ができて、これからはきちんと食品として売っていくということで、この地域ならではの工夫も必要だと思うし、ただ駆除をするだけでなく、きれいに処理をして生産していく必要がある。施設はできたが、まだまだ現場からの運搬処理等に課題がある。もっともっと施設を利用したい、ということも捕獲する側の方にも伝えていく必要もあると思う。
- (委員) ・西脇多可が文化、スポーツ事業で連携していくことは素晴らしいことと思う。その中で、お互いの施設を相互に利用することができないかと思う。例えば、西脇には硬式テニスのコートがないが、テニス人口は非常に多く、その方は加東市などでプレーされていると聞く。施設の相互利用は素晴らしいことだと期待しているが、ビジョンでは、事業の具体化に向けた調整という段階だとお聞きをしており、現在どのような状況なのか教えてほしい。
- (町担当) ・現在はまだ調整中の段階であり、今後具体を詰めていきたいと考えている。
- (委員) ・シカ肉処理施設の件だが、丹波市にも民間で運営されている施設がある。その施設と、多可町にある施設とはどう違うのか教えてほしい。あと、表の見方の中で、●の事業が先に来て○の事業が後に来るのは分かるが、○の事業の後に●の事業が来るのはどういう意味か。
- (事務局) ・例えば、27番の水位監視対策事業の場合は、23年度にそのうちの一部の事業である河川監視用カメラの設置が完了したが、雨量計の整備など残りの事業は後年度の取組となるため、そのような記載方法になっているということをご理解いただきたい。
- (座長) ・シカ肉処理施設については、県が「ひょうごシカ肉活用ガイドライン」を策定しているが、そのガイドラインの基準を満たしたものについては、県の認証食品として認証されるということになっている。丹波市の「丹波姫もみじ」という施設で加工したシカ肉は、衛生面など基準を満たしたとして認証を受けており、全国的に見ても先進的な取組をされているが、今のところ、県の認証を受けているのは丹波姫もみじのものしかない。このように、かなり進んだ処理施設となっている。多可町の施設も、丹波姫もみじをモデルとして処理を進められていると聞いている。
- (町担当) ・座長から説明があったように、丹波市の施設は民間の施設である。多可町の

施設でも、今年度認証を受けられるように努力をしているところである。

- (座 長) ・施設がないと衛生的な処理ができないので、まず施設を整備して、加工していく過程でガイドラインを遵守し、県に申請をしていく、ということである。県の認証を受けられれば、安全・安心を求める消費者にも訴えることができ、シカ肉をさらにPRできると思う。

## (1) 報告事項 ② 平成 24 年度実施予定事業について

○会議資料及びスライドに基づき、事務局から実施予定事業について説明

- (委 員) ・39番の圏域観光連携推進事業について、国道427号の「ルート427の日」イベントについて、前までは田園空間博物館とも連携したイベントとなっていたようだが、現在は西脇市のかかわりはどのようになっているのか。また、交流イベントの開催に向けた協議検討を進めるとなっているが、事業を実施する場合、大がかりな宣伝や情報提供はできるのだろうか。
- (市担当) ・ルート427の日については、西脇市ではのぼりの設置などPR面で協力をしている。また、PR活動については、今後協議を進めていく中で検討をしていきたいと考えている。
- (委 員) ・43番の木質バイオマスエネルギー利用促進事業について、多可町の学校給食センターにチップボイラーを設置していただくことは非常にありがたいと感じている。森林組合では、町からの委託を受けチップ工場の管理運営をしており、現在4箇所を設置しているが、供給過剰状態でもあるので、もっとチップボイラーを設置していただければと思っている。何とか、行政の力で設置を推進していただきたい。

## (2) 協議事項 北はりま定住自立圏共生ビジョンの変更について

○会議資料に基づき、事務局から変更の内容について説明

- (副座長) ・図書館相互利用推進事業については、西脇市の図書館と多可町の図書館のそれぞれの特色を分けるとか、西脇市の図書館で多可町の図書館の蔵書を予約すれば、翌日には届くというようなことも検討していただければと思う。
- (委 員) ・結婚活動促進事業は面白い取組とは思いますが、この事業は果たして行政が実施すべきものなのか。
- (市担当) ・西脇市でも昨日パーティーを開催したところだが、実施主体はボランティア団体であり、市は、安心感を高めるという意味で、受付の際の窓口などとして事業にかかわっている。
- (委 員) ・結婚活動促進については本当にいいことだと思う。結婚をしていただいて、少子化対策にもつなげていただきたい。先般、鳥取のある町から多可町に視察に来られたが、その町の方は、高齢化率が45%だと言っておられた。その中で、何とか地域の活性化を目指したい、との思いで、昨年道の駅もできたらしいが、納品をするばかりで買う人がない、という話も聞いた。過疎になってしまうと手の打ちようがないとも思うし、行政や住民という

くくりなど関係なく、本当にみんなでまちを守っていくことが大事だと痛感した。

- (町担当) ・多可町では、喫茶店でパーティーを開いているが、県内でも珍しい取組であると聞いている。町のかかわりとしては、先ほど市からも話があったが、町や市の名前を出すことによる安心感もあるし、町が関わることにより情報発信力を強められるというメリットもあると考えている。

## 6 その他

- (兵庫県) ・定住自立圏構想について、先月中心市懇談会が開催されたが、その時の議論の内容等を踏まえ数点情報提供をさせていただきたい。
- ・まず、中心市について、加東市は人口4万人を超えたことにより、また、加西市は昼間人口が夜間人口を上回ったことにより、それぞれ中心市の要件を満たすこととなったため、この北播磨地域で新たな枠組みを模索するという可能性が出てきた。
  - ・次に、「周辺市町村」という呼称について、周辺という言い方にかかなりの抵抗があるため、今後、市町村の判断で「連携市町村」や「構成市町村」という呼称に変えることも差し支えないと要綱に明記してはどうか、との意見もあった。
  - ・もう一点、全国の動きとして、今年7月時点で67の圏域で定住自立圏構想が進められている。県内でも、豊岡市を中心とした「但馬定住自立圏」の形成協定が締結されたところであり、同圏域では、周産期医療のネットワークの整備、また、観光での連携等が図られることとなる。以上、情報提供とさせていただく。
- (事務局) ・共生ビジョンについては、内容の変更に必要な手続を事務局で行い、変更後の冊子を後日委員の皆様へ送付させていただきたい。
- ・懇談会については、来年2月頃に再度開催をさせていただき、委員の皆様にあらためて御意見をうかがいたいと思っているので、よろしく願いしたい。

## 7 閉会（多可町長あいさつ）

- 西脇市長のあいさつにもあったが、ビジョンの中には今後さらに踏み込んで取り組んでいかなければならない課題もある。
- 初めての委員さんには、共生ビジョンというものが少し分かりにくかったかもしれない。確かに、生活者の視点でのご意見を行政の中に反映しにくい部分があるかもしれないが、行政の施策の中に取り込んでいく方策を考えないといけない。
- 様々なご意見をいただいたが、シカ肉の関係でも、衛生面でも経験不足かなと感じたところである。体育施設の共同利用についても、同じ料金でご利用いただけるようにしているが、その情報提供をいかにうまくやっていくかという課題があるし、まだ実現していないということは、スピード感がないということでもあり、反省しなければな

らないと感じている。結婚活動支援についても、なぜ行政がするのか、というご意見、と、一方では切実な課題であるとのことのご意見もいただいた。

- 懇談会は、再度2月に開催される予定であるが、委員の皆様とともに勉強をしながら、地域をどう良くしていくのかということを考えていきたい。本日は、暑い中、またお忙しい中お集まりをいただき、熱心に議論をいただいたことに感謝を申し上げ、閉会のごあいさつとさせていただきます。